



ピラの/枚/枚に  
熱い反応!

軍事大国化と改憲攻撃の重要な環として教育・教科書の改悪攻撃に対する労働者・市民の広範な危機感を表すように武道館に一万八千名が結集、動労千葉で用意

十一月十三日  
武道館で五千枚  
教育の反動化反対  
集会でピラまき

# 12.3労働者集会に集まるぞ! 東京各駅等での街宣を開始

\*\*\*\*\*

右翼労働「統一」粉砕、三里塚二期着工阻止、十二・三労働者集会の成功と、三里塚を闘う闘争的労働運動の結集のために、青年部は、この一ヶ月を労組オルグ・参加の呼びかけ・街頭宣伝など、連続して闘いに決起し成功をちとつた。

## 首都・東京へうつつ出る

十二・三集会への参加を呼びかけるピラまき、街宣行動も、十一月三日・自衛隊観艦式粉砕集会、十一月四日・総評臨時大会、十一月十三日・武道館における教育の反動化反対集会、十一月十五日・北富士現地集会、十一月十六日・山手教会における行革反対集会、十一月十九日・秋葉原駅街頭宣伝十一月二十四日・有楽町駅街頭宣伝と、すでに七波にわたる行動を意気高く貫徹してきた。

総評の事実上の解体状況と、あらゆる勢力が敵の攻撃の前に右往「左」往し、何の展望も、闘いも提起できず、総屈服しようとしているなかにあつて、「三里塚を基軸とした労働運動こそが、右翼労働『統一』を粉砕する」「労働者の怒りを結集して現状を変革し、労働運動の戦闘的再生を勝ちとりうる唯一の路線がこれだ!」「十二・三労働者集会へ総結集を!」と訴える青年部の宣伝隊に寄せられた反応は予想を越えて大きなものであつた。「三里塚を守れ!」「二期決戦勝利!」「右翼労働『統一』粉砕!」「軍事大国化・改憲阻止!」「革マル追放・動労大改革!」のゼッケン・ハチマキもあざやかに闘いぬいた、今回の街宣ピラまき、あるいは労組オルグ行動は、今後動労千葉が、三月闘争の成果のうえに、ますます自前の労働運動に磨きをかけ、労働運動・階級闘争の全体の動向をにらみつけ、荒々しい戦闘的再生にむけて切りこんでいく出発点である。来年三月三里塚二期決戦を見据え、連帯・共闘の輪を求めて、更に更に大胆に進もう!

「右翼労働『統一』粉砕! 三里塚闘争に決起しよう!」  
首都圏労働者に呼びかける動労千葉。(11/24, 有楽町駅)

\*\*\*\*\*



した五千枚のピラはわずかに四〇分のうちにつきぎと参加者の手に渡されていった。参加した青年部員の感想も、「残念だったナ。ピラを三倍か四倍ぐらいいもってくるべきだった。皆んな関心をもつて読んでくれた。」

十一月十九日

秋葉原駅で六千枚

各支部から二九名の青年部員が参加。夕刻のラッシュアワーに合わせて、ゼッケン・ハチマキ・動労旗で駅頭を制圧してピラまき行動を貫徹。一時間あまりで約六千枚のピラを全てまきつくしてしまつた。駅頭で元気よく「団結ガンパロー」を三唱して解散。

十一月二十四日

有楽町駅で五千枚

十二・三集会の賛同人として、総評顧問の岩井章氏、労働運動評論家・高島喜久男氏、大学教授・柘植秀臣氏、歴史学者・羽仁五郎氏というそうそうたる人々の各界からの賛同・激励の声をすりこんだ新しい宣伝ピラを用意して十一月二十四日に街宣に出た。青年部員、二三名が参加。一時間で用意した五千枚のピラをまききつた。都職労関係の職場が近いせいか、夕方退庁時刻のピラまきへの反応は、とても大きい。なかには、「ガンパレヨ!」と声をかけていく人、「ぜひ参加したいと思えます」と話しこんでいく人など思った以上の反応に街宣行動参加者全員が集会成功への確信と決意を新たになり固めた。

# 日刊動労千葉

81. 11. 26

No. 905

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆電話(22)七二〇七